

- A
- ①夕方の人手が少ない時間帯に繰り返し帰宅を訴えること。
  - ②他人への世話焼きでトラブルになる。
  - ③洗濯物や箸、コップなどを勝手に部屋に持ち帰りタンスに隠す。
  - ④何度お願いしても変わらない。

なので、

- B①
- ①夕方は穏やかに過ごして欲しい。
  - ②他者とのトラブルを起こさないで欲しい。
  - ③施設のものを勝手に部屋に持ち帰らないで欲しい
  - ④こちらのお願することに従って欲しい。

だから、

- B②
- ①家が売られて無いこと、夫が亡くなっていないことなどを説明して納得してもらおう。
  - ②トラブルを起こす利用者との距離を設ける。（席を替える、時間を一緒にしない）
  - ③個人のもので施設のものが区別できる様に名前を書いておく。
  - ④忘れるので、何か紙に書いて渡す、伝える方法を変える。

A

①夕方の人手が少ない時間帯に繰り返し帰宅を訴えること。

②他人への世話焼きでトラブルになる。

③洗濯物や箸、コップなどを勝手に部屋に持ち帰りタンスに隠す。

④何度お願いしても変わらない。

C 夕方になると、「こんなことはしてられない、  
ご飯の支  
度をしないと、旦那に叱られるから帰ります。」と言っ  
て繰り返し玄関にやって来る。

(1) 病気の影響や飲んでいる薬の副作用について考えてみましょう。

- ①認知症により、理解力、推測が低下しているのではないか。
- ②うつ病の治療がすすんでいない
- ③アリセプトの副作用（食欲低下）、セルシンの副作用（眠気）の影響
- ④子宮がんの既往による体調不良の影響があるのでは。

(2) 身体的痛み、便秘・不眠・空腹などの不調による影響を考えてみましょう。

- ①空腹のため
- ②疲労のため
- ③運動不足のため、ではないか
- ④便秘による影響はないか
- ⑤頭痛、関節痛など痛みによる不快感があるのでは

(3) 悲しみ・怒り・寂しさなどの精神的苦痛や性格などの心理的背景による影響を考えてみましょう。

- ①夫がいない、子供が無いこと、帰ることが無い、他の人から怒られることが悲しいのでは
- ②せっかちな性格の影響
- ③おせっかいな性格の影響
- ④夫に叱られることが怖いのではない

(4) 音・光・味・臭い・寒暖等の五感への刺激や苦痛を与えている環境について、考えてみましょう。

- ①夕食の香りや調理の音が刺激になったのでは。
- ②一人暮らしから集団生活に変わって音や周囲がざわざわしているためでは
- ③夕方になって、心細くなっているためではないか。

夕方になると、「こんなことはしてられない、ご飯の支度をしないと、旦那に叱られるから帰ります。」と言って繰り返して関にやってくる。

(5) 家族や援助者など、周囲の人の関わり方や態度による影響を考えてみましょう。

- ①夕方はスタッフがばたついて、かまってくれない。
- ②手伝っても感謝されないからでは
- ③怒鳴る利用者と夫が重なったのではないか

(6) 住まい・器具・物品等の物理的環境による居心地の悪さや影響について考えてみましょう。

- ①落ち着いて食事を待つ環境ではない
- ②環境に馴染めていないのでは
- ③居場所が無いのではないか
- ④施設の物品や家具などとこれまでの生活様式が合わないからではないか

(7) 要望・障害程度・能力の発揮とアクティビティ（活動）とのズレについて考えてみましょう。

- ①何もすすることがなく手持ち無沙汰になっている。
- ②畑仕事等楽しみが無くなっているのでは
- ③この施設にいる意味をボランティア活動や仕事していると思込んでいるのでは

(8) 生活歴・習慣・なじみの暮らし方と、現状とのズレについて考えてみましょう。

- ①これまで、夕方に夫に夕食を出していた生活習慣が影響しているのでは
- ②施設に手伝いに来ていると思っているのでは
- ③長女、ラインの長など責任感が強いからではないか
- ④妻の務めとして意識しているのでは

D

- ①体調が把握できていない
- ②食事の量が足りないので夕方になってお腹がすいてくる
- ③施設に居場所が見つからない
- ④料理づくりに参加できていない
- ⑤おせっかいたと、スタッフが止める。

E

- ①日々体調よく過ごしたい
- ②何か食べたい
- ③居心地のいいところで過ごしたい
- ④お料理づくりをしたい
- ⑤みんなの役に立ちたい

F

- ①D3シートで体調を把握する（ウ）
- ②食事の量を検討する（ウ）
- ③1日の過ごし方を確認する（D3、D4）（ウ）
- ④料理や配膳、片付け等を一緒に行ってみる。（イ）
- ⑤日中施設の中のことをスタッフと一緒に試してみる（洗濯物、掃除など）（イ）